

○魚付が「良い」と思った。

わけは魚付の泳いでいる戸所がきもちおそろに見えた。2匹の魚付が友だちで「仲良く遊んで」いるように見えた。

色絵金彩海龍図花瓶の龍の絵が、リアル感があったので、大人にならば作ってみたい。

日本画の白山図が、とてもきれいで、写真を見ている見ているよかったです。

平文南飛の箱がきれいだった。吸い込まれそうな感じがした。特に白山図が大きくて、描いてある花がとてもキレイで、赤色の花が目立っていました。

雪と鳥 於能登輪島の絵が、輪島だとは思いませんでした。緑色っぽい海がとてもきれいでした。また、見たいです。

まず、第三展示室に行きました。

そこで、大きな絵画がざらざらあったり、彫刻が置いてありました。とくに、茶道の道具が展示してあって、茶釜をつくるのは大変だということを知りました。

次に、第一・二展示室に移動しました。初めに展示してあった中で、一番印象に残ったのは、大きな皿で、きれいな青のグラデーションの皿です。

「耀彩鉢」という作品を見て、皿は主に風景などがかかっていると思っていたが、さかきを起すような、不思議な作品もあることも知った。

「張水指 海原」には、小さく波がかかれています。一回見ただけでは気付かないものがあったので大変だった。

全体を通して、すごい、すばらしい体験をしたと思います。もっと時間がほしいくらいでした。

焼き物職人にたましいをこめて作った作品(しい作品)は今でも受けつがれているのだとあらためて思いました。